

## 新会長ご挨拶

### 魅力ある機械土工工事業目指して



会 長 山 梨 敏 幸

このたびの役員改選により当協会の会長に就任いたしました山梨敏幸でございます。会長という大役を仰せつかり、光栄に思うと共に責任の重さに身の引き締まる思いです。就任にあたり一言ご挨拶申し上げます。

まず、今回の役員改選により、ご退任された役員の方々には、在任中に賜りましたご尽力に対し、心より感謝申し上げます。特に向井敏雄前会長におかれましては、昭和 57 年に当協会の理事に就任以来、通算 38 年の長きにわたり当協会の発展に多大なる貢献をいただきました。また、平成 21 年に第 3 代会長に就任されてからは、当協会並びに会員企業の発展に強いリーダーシップを発揮し、精力的に活動されましたことに心から敬意を表すると共に、深く感謝申し上げます。

さて、機械土工工事業はインフラ整備を通じて国民生活の向上を支えていく役割と災害時における応急復旧やその後の復興工事など国民生活や経済活動の早期再建に寄与する重要な役割を担っています。今後も役割を全うしていくためには担い手確保による「現場力」の維持が喫緊の課題であります。

そのような状況の中、「建設キャリアアップシステム」を活用した『建設技能者の能力評価制度』で、技能者が適正な評価を受け、「専門工事企業の施工能力等の見える化」が実現することで優秀な建設技能者を抱え育てる企業が評価されます。

当協会としては「建設キャリアアップシステム」を積極的に導入活用し、機械土工工事の主力となる「機械土工職・特殊運転手」及び「土工職・特殊作業員」を擁する企業の日本を代表する団体として、「機械土工工事業」はもとより、これら技能職を魅力ある職種とするために、社会的・経済的地位の向上を図る努力を続ける所存であります。

全国的に新型コロナウイルス感染症がまん延する中、会員の皆様におかれましては、感染拡大防止対策を講じながらの事業活動となり、職場の安全衛生に細心の注意を払われているかと存じます。

このような状況で大変恐縮ではありますが、会員の皆様には、更なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。